

《鶴岡市と株式会社荘内銀行との包括連携協定について》



1. 協定の背景と目的

鶴岡市では、「若者・子育て世代に選ばれるまちづくり」「SDGs未来都市の実現」「産業振興と人材育成」「交流人口の創出・拡大」「総合的なデジタル化戦略の推進」という5つの加速化アクションを重点に第2次鶴岡市総合計画（2024年～2028年）を推進しています。

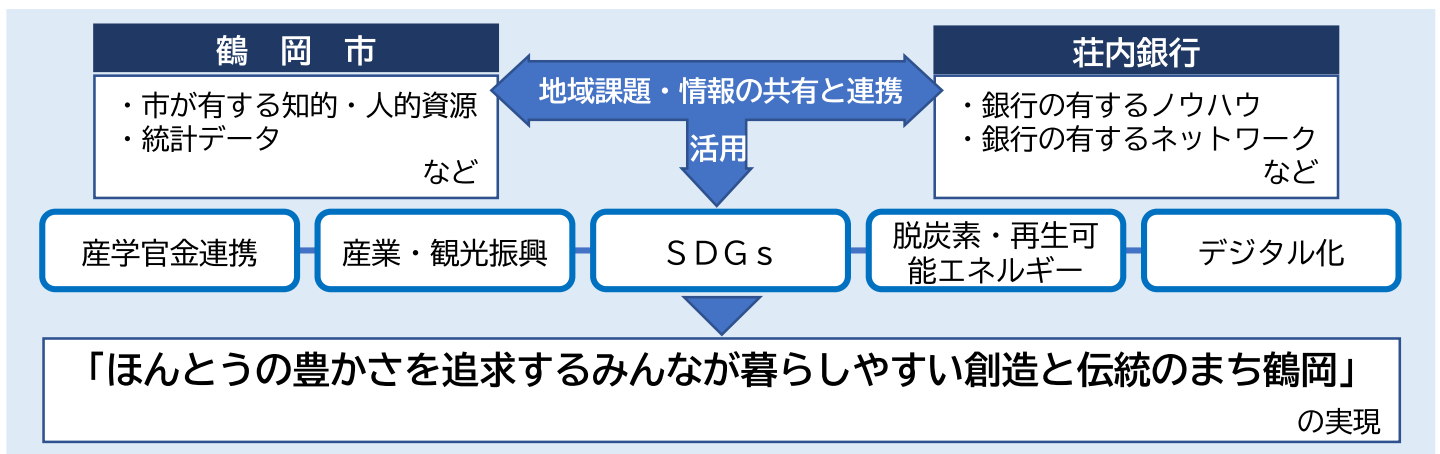
また、荘内銀行・フィデアグループでは、地域に根差した金融機関として、地元企業への支援はもとより、にぎわい創出や交流拡大、若者の地元回帰など鶴岡市の持続的な発展につながる取組を行っており、様々な面で相互に連携・協力しながら地方創生を推進してきました。

包括連携協定締結により、鶴岡市と荘内銀行・フィデアグループ相互の連携を一層強化し、双方が有する情報やネットワークなどの知的・人的資源を、地域課題の解決や地域経済の活性化を目指した施策に活用することで、地方創生の更なる推進と鶴岡市の持続的発展を図っていきます。

2. 連携・協力する事項

- (1) 産学官金の連携促進に関すること。
- (2) 地域産業や観光の振興に関すること。
- (3) 地域のSDGs推進に関すること。
- (4) 地域の脱炭素や再生可能エネルギーに関すること。
- (5) 地域のデジタル化の推進に関すること。
- (6) その他の地方創生の推進及び市民サービスの向上に関すること。

3. 連携イメージ



4. 協定締結による効果

- (1) 鶴岡市の効果
 - ・荘内銀行やフィデアグループが有するソリューションを活用した地域課題の解決と各種施策の推進
 - ・荘内銀行やフィデアグループが有するネットワークを活用した新たな施策の創出
- (2) 荘内銀行の効果
 - ・企業の社会的責任（CSR）や持続可能な発展目標（SDGs）の活動の推進
 - ・鶴岡市との連携による新たなビジネスの創出